

No.19(1部) 医工連携・産学連携による口腔がん触診モデル開発

石川恵生

山形大学医学部歯科口腔・形成外科学講座

背景

- ・口腔がんは、予後の悪い悪性腫瘍の一つとして知られており、早期発見による早期治療が予後改善のために重要
- ・口腔がんの診断の基本は、視診と触診だが、口腔がんと口内炎などの良性病変との鑑別には経験が必要
- ・口腔がんを最初に発見する立場の開業歯科医は、口腔がんの診断に十分な経験を有していないことも少なくなく、診断能力の向上が必要
- ・口腔がんだけでなく、様々な病変の「硬さ」は独特
- ・我々はこの「病変独特の硬さ」を「3Dゲルプリンターで場所によって硬さの違うゲルを作り出す」最新技術で再現し、より本物に近い口腔がん触診モデルを開発すべく、医工連携・産学連携により口腔がん触診モデル開発中
- ・本学会では口腔がん触診モデル開発の現状を報告

[病変には特有の[硬さ]]



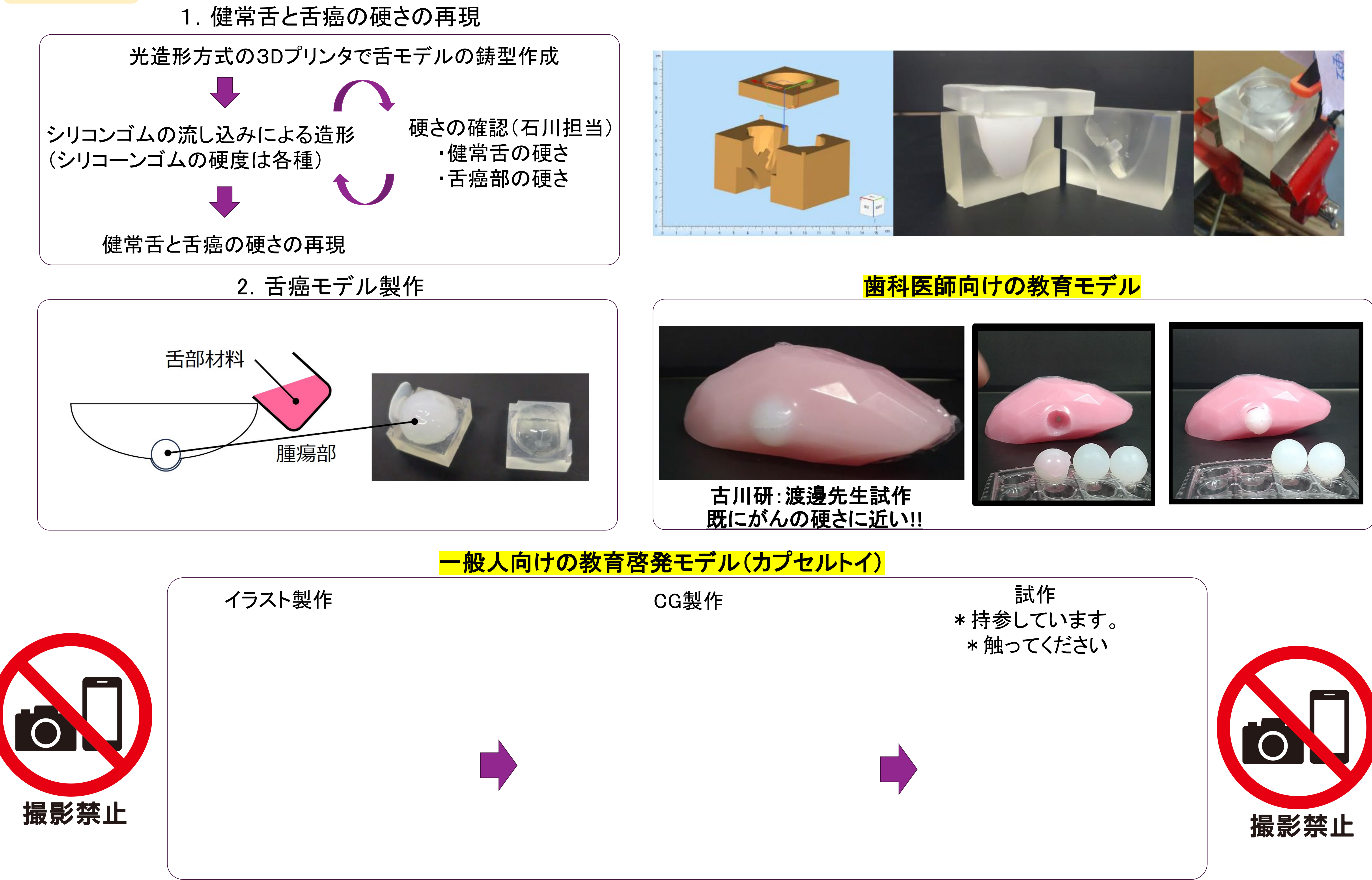
病変独特の硬さを知らない開業歯科医も少なくない ➡ 医工連携・産学連携による口腔がん触診モデル開発へ

目的

以下の2つの触診モデルを医工連携、産学連携により製作し販売すること

1. 歯科医師向けの触診教育モデルー忠実再現モデル
2. 一般人向けの教育啓発モデルーカプセルトイ

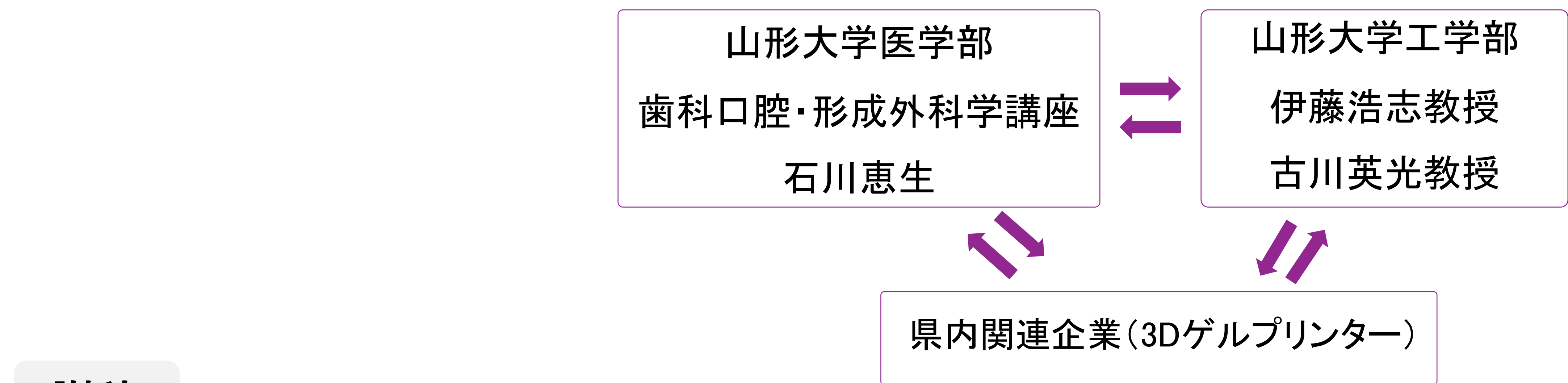
方法・結果



* カプセルトイとして製作・販売してくれる企業を探しています！！

今後

1. 健常舌と各種病変の硬さの確定後に、3Dゲルプリンタによる直接造形へ
2. 医工連携・産学連携の成果として、販売・利益創出を目指す



謝辞

本研究は、YU-COE(S)公募研究の研究助成を受けて実施しました。製作にご尽力を頂いた山形大学工学部伊藤浩志先生、古川英光先生、小川純先生、渡邊洋輔先生、そしてチームの皆様にご心から感謝申し上げます。

問い合わせ先: 石川恵生 shigeo_ishikawa2011@yahoo.co.jp 電話023-628-5413 * お気軽にお問い合わせください！！